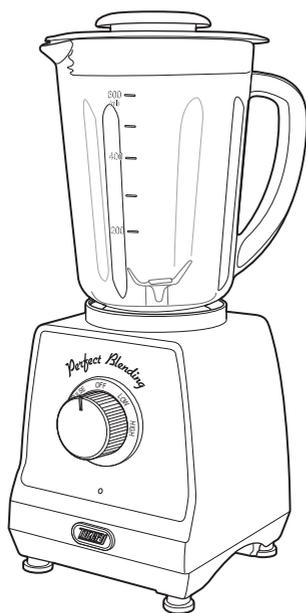


TOFFY ホームブレンダー

品番：K-BD1

家庭用



もくじ

安全上のご注意.....	2
各部の名称	5
使用前の準備	6
つかいかた	7
お手入れのしかた.....	13
故障かな？と思ったら... 14	
製品仕様	15
保証書	16

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
でございます。

本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しく
お使いください。

本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

⚠警告 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

⊘ ⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ ❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

⊘ 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。

ショート・感電・火災の原因となります。

⊘ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因となります。

⊘ 分解・修理・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。

⊘ 本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

⊘ 子供だけで使わせたり、幼児やペットの手の届くところでは使用・保管しないでください。

感電・けが・やけどの原因となります。

⊘ 温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。

故障・変形の原因となります。

⊘ カッターに直接手を触れないでください。

けがの原因となります。

❗ 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

❗ 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

感電・ショート・発火の原因となります。

❗ 電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

❗ 異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。

火災・感電の原因となります。

⚠注意

<p>⊘ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。 火災・故障の原因となります。</p>	<p>⊘ 40°C以上の熱い材料をガラスジャーに入れないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用してください。 容器割れ・故障・破損・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 破損や変形があるときは絶対に使用しないでください。 感電・けが・故障の原因となります。</p>	<p>⊘ ガラスジャーは急激な加熱や冷却をしないでください。 破損・容器割れ・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 電源コードを束ねたまま使用しないでください。 熱を持ち、コードの破損、発火の原因となります。</p>	<p>⊘ ガラスジャーが傷つくような固い材料を調理しないでください。 故障・破損・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。 傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。</p>	<p>⊘ 動作中にガラスジャーの取り付け・取りはずしは行わないでください。 故障・破損・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 使用中に本製品から離れないでください。 調理物から発火することがあります。</p>	<p>⊘ 不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しないでください。 故障・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 調理以外に使用しないでください。 火災・破損・故障の原因となります。</p>	<p>⊘ ガラスジャーの上限ライン(600ml)以上材料を入れないでください。 故障・破損・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。 故障・破損・けが・感電の原因となります。</p>	<p>⊘ 40°C以上のお湯・食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。 変色・変形・劣化や破損などの原因となります。</p>
<p>⊘ 使用中は本体を移動させないでください。 故障・けがの原因となります。</p>	<p>⊘ 付属している専用部品以外は使用しないでください。 故障・けがの原因となります。</p>
<p>⊘ 本体の底面にある通風口をふさいだまま使用しないでください。 熱を持ち、故障・破損の原因になることがあります。</p>	<p>⊘ 使用できない材料を使わないでください。 「調理できない材料」(8ページ)の材料は使用できません。</p>
<p>⊘ カッターの回転が完全に止まるまでキャップやふたを開けたり、ガラスジャーの中に指やスプーンなど材料以外のものを入れないでください。 使用中材料を加える場合は、必ず運転スイッチを「OFF」にし、カッターの回転が止まってからふたを開けてください。 けがの原因となります。</p>	<p>⊘ カッターを取り付けたまま調理物を入れて保存しないでください。 部品の劣化・故障の原因となります。</p>
<p>⊘ 空運転は絶対にしないでください。 故障・破損の原因となります。</p>	<p>⊘ 割れたり、ヒビの入ったガラスジャーは絶対に使用しないでください。 故障・破損・けがの原因となります。</p>

⚠注意



調理した材料や、カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。

けがの原因となります。



材料が多すぎるなどの原因で回転が止まったときは、すぐに運転スイッチを「OFF」にし、材料を減らしてから再び運転してください。

けがや故障の原因になることがあります。



一回の使用時間は定格時間(2分)以内にしてください。定格時間以上で使用になる場合は20分以上休ませた後、再度で使用ください。

故障・発火の原因となります。



材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。

破損・けがの原因となります。



キレが悪くなったり、カッターに傷、損傷を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。

本体以外の各容器・各部品は消耗品です。



調理したものはできるだけ早く召し上がるか、次の加工に進んでください。そのまま保存はしないでください。

材料の腐敗の原因となります。



ガラスジャーは常温状態で使用してください。

急激な温度変化は破損・容器割れの原因となります。



必ず液体と一緒に調理してください。

故障・破損の原因となります。



お手入れの際や使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の原因となります。



電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

故障・感電やショートの原因となります。

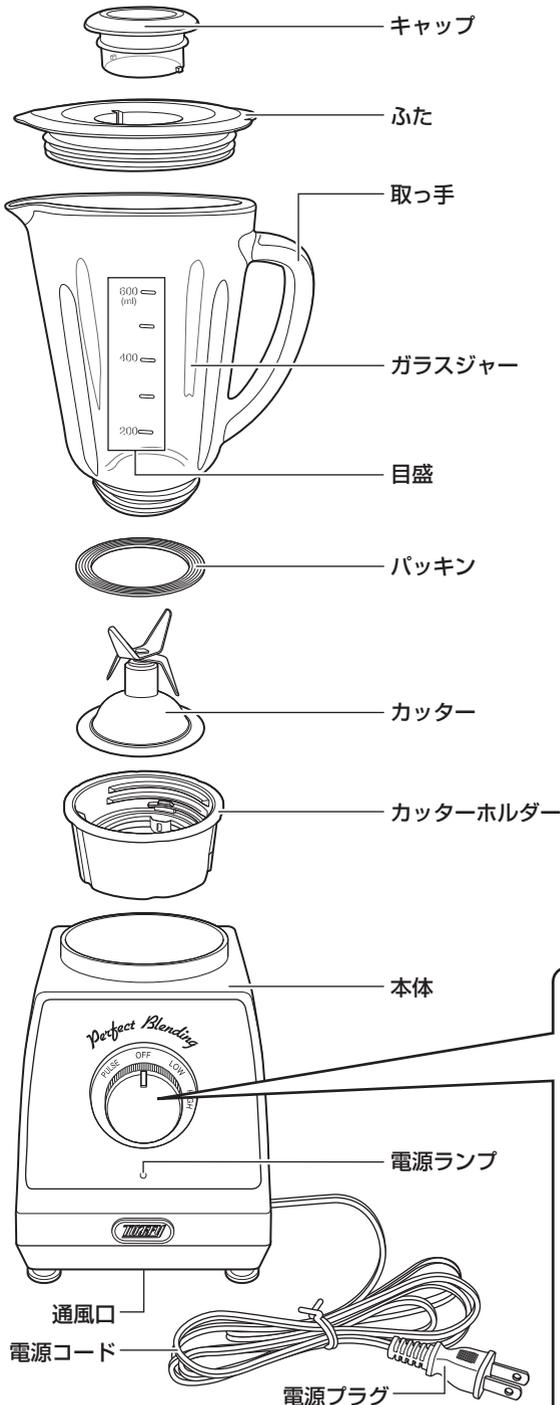


使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。

使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

各部の名称

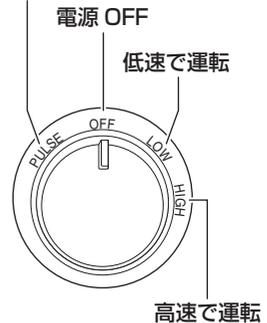
本体



運転スイッチ

断続で運転

運転スイッチを回している間だけ運転されます。離すと運転スイッチが「OFF」に戻り、運転が止まります。



初めて使うとき、または長い間 使用していないときは

本体以外を十分に洗って乾かしておいてください。

- ガラスジャー・各部品は高温に耐えられないため、40°C以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。

△注意

- カッターに直接触れないでください。
けがの原因になります。
- 本体は水につけることができないため、浸水しないよう十分気を付けてお手入れしてください。
故障の原因になります。

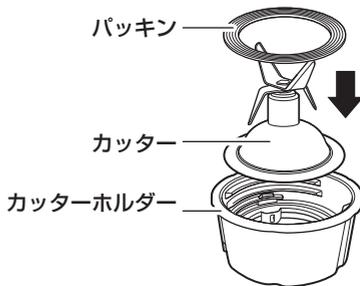
つかいかた

組み立て

1 パッキンをカッターの外縁にはめ、カッターホルダーに取り付けてください。

- カッターに直接手を触れないでください。
けがの原因となります。
- パッキンを取り付けるとき、カッターで傷をつけないようにご注意ください。

△注意

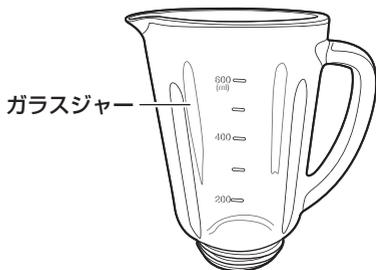


2 カッターホルダーをガラスジャーに取り付けてください。

- ガラスジャーとカッターホルダーをしっかりと閉めつけてください。
- 締め付けが足りないとガラスジャー内の液体や材料が漏れるのでご注意ください。

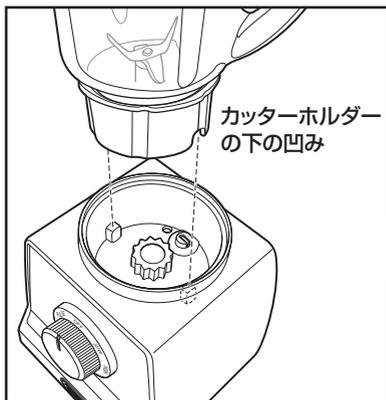
△注意

ガラスジャーを落とさないようにご注意ください。



3 本体を安定した水平な場所に設置してください。

4 下図のようにガラスジャーを本体に正しくのせてください。



つかいかた

調理のしかた

1. ガラスジャーに材料を入れてください。

- ・材料は約2cm角に切ってから入れてください。(にんじんなどの固い材料は1cm角に切ってください。)
- ・材料を入れる順番として

①液体

②やわらかい材料

③かたい材料

④氷(必要な場合)

を入れてください。

※水分の多い材料は下に、固形物は上に入れてください。

※氷は必ず液体と一緒に入れてください。氷は5個(2.5cm角以下の大きさ)まで、LOWモードで調理してください。カッターが回りにくくなる場合は、液体を追加し、PULSEモードで入切を繰り返しながら砕いてください。

調理できない材料

下記の「調理できない材料」を入れると、ガラスジャー・カッターなどが破損し、本体故障の原因となります。

調理できない材料

- ・ロックアイス(市販の氷)
- ・家庭用の冷凍庫で作った2.5cm角以上の角氷
- ・粘り気の強い食材(山芋、ごぼう、マッシュポテト、納豆、はちみつなど)
- ・肉・魚類
- ・泡立てやパンなどの生地作り
- ・固いもの(生のじゃがいも、さつまいも、かぼちゃなど)
- ・乾物(パルメザンチーズ、朝鮮人参、ウコン、コーヒー豆、ごま、煮干、アーモンド、乾燥昆布、香辛料など)
- ・水分が少ないもの

△注意

冷凍果物、野菜は固さによりガラスジャー、カッターなどを破損または故障させる恐れがあります。

△注意

- ・使用できない氷
 - ・2.5cm角以上の氷
 - ・ドライアイス
 - ・市販の氷(ロックアイス)
 - ・業務用製氷機で作った氷
- ・材料を最大量(600ml)より多く入れないでください。
故障の原因になります。
- ・材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。
破損・けがの原因となります。
- ・40℃以上の熱い材料を入れないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。
故障・破損・けが・やけどの原因となります。
- ・水や牛乳など、必ず液体を一緒にに入れてください。
- ・ガラスジャーは常温の状態で使用してください。
急激な温度変化は破損の原因になります。
- ・固形物と液体物の割合は1:2または液体を多めにしてください。

2. ふたとキャップを取り付けてください。

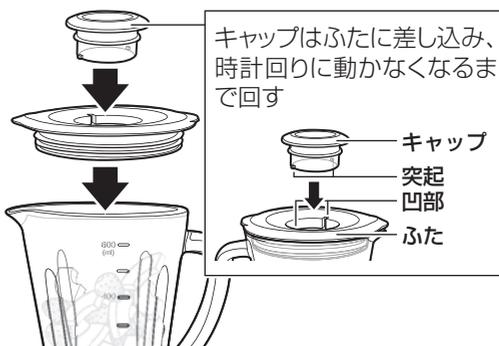
ふたは正しい向きにしっかり取り付けてください。調理中に吹きこぼれる原因になります。

3. 運転スイッチがOFFの位置になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

OFFの位置になっていないと、突然動きだし、けがの原因となります。

△注意

- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
故障・破損の原因となります。
- 材料のセットなど用事が終わるまでは電源プラグをコンセントに接続しないでください。
けがの原因となります。



4. ガラスジャーを手で押さえて運転スイッチを回して運転してください。

・キャップ・ふたを強く押すと、調理物によってはキャップとふたのすき間からにじみ出てくる場合があります。調理物を減らし、ガラスジャーをしっかり押さえてご使用ください。

※運転中は運転スイッチの下にある電源ランプが点灯します。

※ガラスジャーが本体に正しく取り付けられていないと、安全装置により運転しません。

△注意

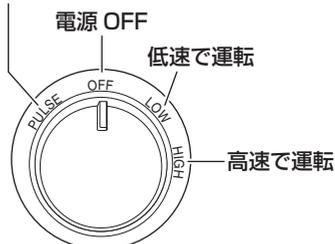
- 空運転は絶対にしないでください
故障・破損の原因となります。
- 一回の使用時間(連続操作: HIGHモード・LOWモード、断続操作: PULSEモードの合計時間)は定格時間2分以内にしてください。
2分以上ご使用になる場合は20分以上休ませた後、再度ご使用ください。
- 材料の大きさによってカッターが回りにくくなる場合があります。PULSEモードで入切を繰り返しながら砕いてください。



運転スイッチ

断続で運転

運転スイッチを回している間だけ運転されます。離すと運転スイッチが「OFF」に戻り、運転が止まります。



連続 2 分以内

HIGHモード(高速) LOWモード(低速)	材料を細かくしたり、なめらかにしたいときの操作方法です。
PULSEモード(断続)	固い材料を粉碎したいときの操作方法です。

- ・材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。
その場合は材料を小さく切って再度運転してください。

- ・カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。
けがの原因となります。

⚠注意

- ・絶対にキャップとふたをしないまま使用しないでください。
けが・吹きこぼれの原因となります。

- ・カッターの回転が完全に止まるまでキャップやふたを開けたり、ガラスジャーの中に指やスプーンなど材料以外のものを入れないでください。
けがの原因となります。

- ・運転音が高くなったらカッターが空回りしている可能性があります。運転スイッチをOFFにし、完全に回転が止まってからガラスジャーを本体から取りはずし、ガラスジャーの中身をへらなどで混ぜてください。

5. 少量の材料や液体の追加をするときはキャップをはずして対応してください。

材料や液体を追加するときは、必ず運転スイッチを「OFF」にしてからキャップやふたをはずしてください。

キャップは反時計回りに回し、持ち上げると取りはずすことができます。

- ・運転するときは必ずキャップとふたを正しく取り付けてください。



△注意

- ・材料を最大量(600ml)より多く入れないでください。
故障の原因となります。
- ・材料を入れすぎると、使用中に調理物が溢れ出る事があります。
量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。
- ・カッターの回転が完全に止まるまでキャップやふたを開けたり、ガラスジャーの中に指やスプーンなど材料以外のものを入れないでください。
けがの原因となります。

6. 調理が終わったら、カッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセントにつないだままにしておくこと誤操作によりけがなどの原因になります。

※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

7. 調理後は調理物を取り出し、お手入れをしてください。

調理後そのままにしておくこと、ガラスジャーやパッキンに付いた汚れが取れにくくなり、カッターなどに悪影響があります。

△注意

- ・固い材料を調理するときは、カッターが破損することがあります。カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が材料に混入している可能性がありますので、材料は使わずに廃棄してください。
- ・調理物を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。
けがの原因となります。

サーモスタット (温度調整器の働き)

本製品には、モーターの過熱を防ぐため、自動的に電源が切れるサーモスタットが搭載されています。

一定時間以上連続して調理すると、この機能が働いて電源が切れます。

モーターに負荷がかかり過ぎると保護装置が働き一時停止します。停止した後は、以下の手順を厳守して取り扱ってください。

- ⚠注意**
- ① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ② ガラスジャーを本体からはずしてください。
 - ③ 本体を30分以上自然冷却してください。

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用毎にお手入れしてください。

△注意

- ・ お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因になります。
- ・ お手入れをするときは、本体の温度が下がってから行ってください。
- ・ 本製品のお手入れに、台所用中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因になります。
- ・ 本体に直接水をかけないでください。
故障・やけど・火災の原因になります。
- ・ 40℃以上の熱湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。
変形・破損の原因になります。

本体お手入れ

1. よくしぼったふきんで、本体の汚れをきれいにふいてください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

△注意 本体は絶対に水につけないでください。
故障・感電の原因になります。

2. お手入れ後は十分に乾燥させてください。

水分が残っていると、カビやサビの原因になります。

△注意

- ・ カッターには触れないように十分注意して洗ってください。
- ・ 樹脂部品(パッキン)は、にんじん、葉菜類の色素が付着して変色することがあります。
使用後は早めにお手入れしてください。

- 3 乾燥させたあと、各部品を元通り組み立てて、取り付けてください。

本体以外のお手入れ

1. 本体以外はすべて水洗いできますので、使用したものはすべて台所用中性洗剤とやわらかいスポンジを使って洗ってください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

ガラスジャー内部の汚れがひどい場合は、台所用洗剤を数滴入れたぬるま湯(30℃程度)をガラスジャーの1/3ぐらいまで入れて約10秒間運転します。その後、よく水洗いして乾燥させてください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処
操作をしても動作しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか?	電源プラグをコンセントに取り付けてください。
	本体・ガラスジャー・各部品が正しく取り付けられていますか?	正しく取り付けてください。
モーターの動いている音がするが調理できない・調理時間が長い・振動が大きい	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	材料が固すぎませんか?	固い材料を取り除いてください(調理できない材料は8ページをご確認ください)。
	材料が片寄っていませんか?	材料を均一にならしてください。
材料があふれてくる	材料が多くありませんか?	材料を少なくしてください。
カッターが空回転してしまう	材料の組み合わせなどにより、ガラスジャーの壁面に付いてしまったり、分離することがあります	一度上下にガラスジャーを振るなどして、材料を混ぜてください。
	材料が少なすぎませんか?	材料を多くしてください。
途中で止まってしまう	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	材料が固すぎませんか?	固い材料を取り除いてください(調理できない材料は8ページをご確認ください)。
	長時間(定格時間以上)使用していませんか?	本体を30分以上休ませてください。
材料がうまく混ざらない	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	調理時間が短すぎませんか?	調理時間を長くしてください。
	ガラスジャーの壁面に材料がついていませんか?	一旦ふたをはずしてスプーンなどで中に落として操作してください。

長期間で使用のホームブレンダーは定期的な点検をお願いします

- ・電源コードが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷などがある。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・カッターの破損、刃こぼれ、ヒビ割れなどがある。
- ・そのほか異常や故障がある。



このような症状が出たり発見したときには、すぐに使用を中止してください。

製品仕様

品名	Toffy ホームブレンダー
品番	K-BD1
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	210W
定格容量	600ml
定格時間	2分
回転数	HIGHモード（高速時）：約21,000回/分 LOWモード（低速時）：約20,000回/分
電源コード長	約0.8m
本体寸法	約165(W)×315(H)×120(D)mm
重量	約1,650g
生産国	中国
付属品	レシピブック×1冊、ユーザーズガイド(保証書含む)

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

